

入 学 試 験 問 題

数 学



名古屋大学 2023 年度 理 系

入試数学アーカイブ

全 4 問

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 6 ページあり、問題は全部で 4 問あります。落丁、乱丁または印刷不鮮明の箇所があったら、監督者に知らせなさい。
- 3 解答には、必ず黒色鉛筆（または黒色シャープペンシル）を使用しなさい。
- 4 解答は、問題ごとに解答用紙の指定された箇所へ記入しなさい。
- 5 解答用紙の指定欄に、受験番号、科類、氏名を記入しなさい。指定欄以外に、これらを記入してはいけません。
- 6 解答用紙の解答欄に、関係のない文字、記号、符号などを記入してはいけません。
- 7 この問題冊子の余白は、計算用に使用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

第 1 問

実数係数の 4 次方程式 $x^4 - px^3 + qx^2 - rx + s = 0$ は相異なる複素数 $\alpha, \bar{\alpha}, \beta, \bar{\beta}$ を解に持ち、それらは全て複素数平面において、点 1 を中心とする半径 1 の円周上にあるとする。ただし、 $\bar{\alpha}, \bar{\beta}$ はそれぞれ α, β と共役な複素数を表す。

- (1) $\alpha + \bar{\alpha} = \alpha\bar{\alpha}$ を示せ。
- (2) $t = \alpha + \bar{\alpha}, u = \beta + \bar{\beta}$ とおく。 p, q, r, s をそれぞれ t と u で表せ。
- (3) 座標平面において、点 (p, s) のとりうる範囲を図示せよ。

第 2 問

$0 < b < a$ とする。 xy 平面において、原点を中心とする半径 r の円 C と点 $(a, 0)$ を中心とする半径 b の円 D が 2 点で交わっている。

- (1) 半径 r の満たすべき条件を求めよ。
- (2) C と D の交点のうち y 座標が正のものを P とする。 P の x 座標 $h(r)$ を求めよ。
- (3) 点 $Q(r, 0)$ と点 $R(a - b, 0)$ をとる。 D の内部にある C の弧 PQ ，線分 QR ，および線分 RP で囲まれる図形を A とする。 xyz 空間において A を x 軸の周りに 1 回転して得られる立体の体積 $V(r)$ を求めよ。ただし，答えに $h(r)$ を用いてもよい。
- (4) $V(r)$ の最大値を与える r を求めよ。また，その r を $r(a)$ とおいたとき， $\lim_{a \rightarrow \infty} (r(a) - a)$ を求めよ。

第 3 問

- (1) 方程式 $e^x = \frac{2x^3}{x-1}$ の負の実数解の個数を求めよ。
- (2) $y = x(x^2 - 3)$ と $y = e^x$ のグラフの $x < 0$ における共有点の個数を求めよ。
- (3) a を正の実数とし、関数 $f(x) = x(x^2 - a)$ を考える。 $y = f(x)$ と $y = e^x$ のグラフの $x < 0$ における共有点は 1 個のみであるとする。このような a がただ 1 つ存在することを示せ。

第 4 問

n を正の整数とし, n 次の整式 $P_n(x) = x(x+1)\cdots(x+n-1)$ を展開して $P_n(x) = \sum_{m=1}^n {}_nB_m x^m$ と表す。

(1) 等式 $\sum_{m=1}^n {}_nB_m = n!$ を示せ。

(2) 等式

$$P_n(x+1) = \sum_{m=1}^n ({}_nB_m \cdot {}_mC_0 + {}_nB_m \cdot {}_mC_1 x + \cdots + {}_nB_m \cdot {}_mC_m x^m)$$

を示せ。ただし, ${}_mC_0, {}_mC_1, \dots, {}_mC_m$ は二項係数である。

(3) $k = 1, 2, \dots, n$ に対して, 等式 $\sum_{j=k}^n {}_nB_j \cdot {}_jC_k = {}_{n+1}B_{k+1}$ を示せ。

計 算 用 紙

(切り離さないで用いよ。)